

2. 上記のうち、特に印象に残っている事件を3つ選び、それらが日常生活・行動に与えた影響を具体的に記入してください。
3. 上記2で選んだ3つの事件について、社会や行政、マスコミ等に対する不満や期待、改善すべき点を具体的に記入してください。

(0) 全般的な影響と不満・期待・改善点

影響	不満・改善点
・ TV のワイドショーをより熱心に見るようになった。	・ 被害者の自分の責任も問うべき姿勢をタブー視するのはおかしい。
・ 特になし。	・ ワイドショー等は極力見ない。
・ 特になし。	・ 危険人物の把握と情報公開
・ 特になし。	・ 殺人等の遺族に対し、コメントの求め方や度々の放送のあり方にもう少し思いやりが欲しいと思う。
・ 特になし。	・ 生活支援。
・ 特になし。	・ 日常生活において殺人事件が日常茶飯事になっている事は残念でも有り安心して生活が出来ない。
・ いつ誰が事件に巻き込まれるかわからない。防犯意識を持つ。	・ 特になし。
・ ピッキング対策。鍵を性能の良い物に交換した。	・ 金もうけ主義がベースにあるのか、被害者の人権無視しすぎ。加害者こそ社会的制裁を加えるべき。
・ 基本的に影響はない。	・ 特になし。
・ 子供が小学校に行っているのが不安。	・ 警備の強化
・ 自分がどれだけ注意しても、おかしい人が増えているので、対策を立てにくい	・ まず、今の中高年が子育てに失敗したのが原因。教育を変えることが必要。
・ 社会はより自由になったと感じるが、それでも閉鎖感を感じる人が多いらしい。	・ 加害者、被害者の家族へのやりすぎたインタビューはお気の毒。
・ 犯人が逮捕されていないものはやはり心が痛む。被害者の家族は今も悔しく周囲の人さえ信用できずにいるのでは…。	・ こればかりはいつでもどこで起きるかわからないだけに、警察にも文句は言えないと思う。
・ 未成年者の刑はわが国では軽い。	・ 日常生活において殺人事件が日常茶飯事になっている事は残念でも有り安心して生活が出来ない。

(1) による影響と不満・期待・改善点

影響	不満・改善点
・ 特になし。	・ これに限らず未成年者の犯罪において犯罪者は名前も出ないのに、被害者の方のプライバシーは守られないこと。
・ 特になし。	・ 教育（情報教育、論理的思考、科学的アプローチ）の定義強化。犯罪捜査の人員増と、質の向上、強化。司法の充実による裁判の早期化

<ul style="list-style-type: none"> <li>これに限らずお金に対する事の事件が多く、心が貧しくなっているように思う。ただ今の世の中お金がないと生きて行けない部分があると考えさせられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よく殺された方の写真はTVで見ますが、殺人犯となった方の写真も出すべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュース番組を良く見るようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害者の家族などの事を興味本意に書き立てる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>特に影響はない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>凶悪犯罪の低年齢化多発にともない、刑罰を重くする。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>犯罪の低年齢化に危機感を覚えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少年法の改善を急ぐべきだ。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>不審な若者には近寄らない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>

(2)による影響と不満・期待・改善点  
なし。

(3)による影響と不満・期待・改善点

影響	不満・改善点
<ul style="list-style-type: none"> <li>1年後の今になっても犯人さえ特定されない恐怖に、人々は不安な日々を過ごす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>犯人の似顔絵が公開されているのに、何故見つからないのかが疑問</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ犯人が特定できないのか？</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多数の手がかりがありながら、犯人が捕まらないのが不思議（警察も公開できない部分もあると思うが…）。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のコミュニティ形成を防犯の視点で強化する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>犯人が分からず気持ち悪い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>犯人の検挙</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>いずれも、殺人というものが、日常生活の中でいつでも起こりうるということを実感させられた。家にいる時、道路を歩く時、常に少なからず恐怖を感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このような凶悪犯罪が増えた要因の一つとして、経済の不安定が考えられる。又、家族、学校での教育にも問題があると思う。技術進歩も大事だが、心を育てる教育が欠けているのではないか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>お金のため、人の命を無惨にたつことの重大さが解らない人がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文部省、学校、社会、親が子供に対し節度を見せる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>この事件は住宅密集地ではなく、周囲にスペースのある一軒家での事故なので、近年希薄になりつつある隣近所との接点も密にして、自己防衛対策も必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>たとえ自分の家でも安心できるところがなくなったような不安感が強かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>このような事件が起きた時、自分の身は最低限自分で守ろうとする気持ちで対処しないといけないと思うのです。日本人は安心し過ぎているので、対処方を常に考えておくべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>ドアの鍵を増やし、戸締まりを確認するようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>以前住んでいたところが近かったため、警戒した。戸締まりを徹底するようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単純に、犯人が捕まらない事への不満。初期情報に誤りがあったと聞かす。</li> </ul>

・遺留品が残っているにもかかわらず、今だ犯人が見つからない。犯人の大胆さに立腹したい。	・見えない殺人犯は社会不安を招く。まずは罪の重さを大きくし、殺人犯は死刑にすべき。
・家の回りでの物音などに敏感になった	・警察などのパトロールを強化して欲しい。
・家の鍵を変更した。	・立地の問題、マスコミによる情報の垂れ流しが犯人逮捕を遅らせていると思った。加えてマスコミの傲慢さが目立つ。
・家の戸締まり。訪問者に気をつける。	・特になし。
・家の戸締まりに気を付けるようになった。	・特になし。
・家の戸締まりに注意。訪問者はのぞき穴で確認してからドアをあける。	・遺留品が多数あるにも関わらず、いまだに犯人が捕まらない事。
・家の戸締まりを行うようになった。	・マスコミが必要以上に報道するため、過剰反応が現れている。
・家の戸締りをよくする。	・殺人事件で亡くなった人や、誘拐された人等の顔写真を公表する必要があるのかどうか疑問。またワイドショー等で、その人の事を根堀葉堀報道するのは気の毒。もし自分の子供なりが当事者になった時は、絶対写真は公表したくない。
・家の中にも安心出来ないという不安が生じた。	・世の中が狂っているので、半ば仕方がない。
・家族全員が揃っている家での殺人事件で、防ぎようのない恐ろしさを感じた。	・特になし。
・近所なので気になった。	・特になし。
・近隣との交流を活発にし、異常者侵入に対応。	・時間はかかるがやはり恭う教育。
・鍵をかけるようになった。	・特になし。
・戸締まりに気を配るようになった。	・警察のすばやい事件解決が出来なかった事は多いに不満。
・戸締まりの確認	・早期での犯人検挙
・戸締まりの強化	・少年処罰の強化
・戸締まりを以前よりも注意深く心掛けるようになった。	・特になし。
・幸福の家庭が一瞬にして残酷な手口で…そして解決しない恐さ。	・今だに解決していません。情報提供なくして逮捕は無理と確信します。犯人像は常にマスコミ等を通じ呼びかける事。
・今だに犯人が捕まってないという不安。	・特になし。
・子供の通う幼稚園では警備が厳しくなったと聞いている。	・未だ事件は解決していないが、早く解決の糸口を探してもらいたい
・施錠に気を付けるようになった。	・何かしら発見者がいても即マスコミに取り上げられるので、不審者を述べられない人もいるのでは。
・施錠の徹底	・パトロール強化、警察の俊敏な対応。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事件捜査情報の収集に個別訪問された制服警官に指紋提供の協力要請を受けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 捜査協力の名目で、市民の指紋を集める警察に対しての不信。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自宅の防犯に気を使うようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警察に対して、何をしているのか、という気持ち。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅の窓侵入防止方法を探している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の行政機構（たて割）では、本質に迫る対応策は出てこないと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小さな子供まで殺される理由はなんなのかが気になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場所が近く少し用心するようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第三者に対する警戒心が強まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政は事件後、一部対策を考え実行しているようだが、事件は日常生活の中で起こったということを考えて、関係者だけわかっているという状態のままにしておかず、広く住民に啓蒙活動すべし。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都私生活の空虚な部分を再認識。人間関係の希薄さ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 壁一つ隔てると、隣には一切無関心。もっと心暖まる交際は出来ないものか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ より良い街作り。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に影響はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検挙率が年々低下していく中での警察の失態の多さ。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常戸締まりの強化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民はもっと捜査協力をすべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日中は年寄り一人の留守番なので、常に鍵をかけるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 殺人等の遺族に対し、コメントの求め方や度々の放送のあり方にもう少し思いやりが欲しいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年末に起き犯人も捕まらないので、しばらく気になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯人・動機が今だ分からないし、いつ自分がどうなるかわからないな、と少し不安。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワイドショー騒ぎ過ぎ。報道番組ばりにまじめぶって取材しているものの、下世話すぎる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯人がいまだに分からず、非常に不気味です。ピッキング被害の報道もあり、在宅中にも玄関の鍵が気になりだした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あきらめずに犯人を見つけだして欲しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯人が捕まらない恐さ、警察への不満</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マスコミは一時のブームのように書き立てるだけ。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非情な人間像が脳裏を離れない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 殺人犯は全員死刑にすべきだ。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防犯に気を使うようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日家の鍵をかける必要があると思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未解決問題なので大変不安が残る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯罪検挙率の低下を懸念する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民家に強盗とはあまり考えた事はなかったの、たとえ自分が家に居ても常に注意が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人個人でもっと警戒するようにした方がいいと思う。もう治安大国ではない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住宅での安全性、セキュリティの強化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ より安全な住宅や事件への対処法を報道すべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大晦日に入り組んだ場所での犯罪。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警察の検挙率低下で不安。</li> </ul>

(4)による影響と不満・期待・改善点

影響	不満・改善点
・ 特になし。	・ 加害者より被害者のプライバシーがあからさまにされる報道はどうかと思う。
・ 特になし。	・ 気軽に付き合うことへの警報の徹底
・ 特になし。	・ 出会い系サイトには本人の写真を載せるかプロフィールに嘘などないか、厳しくチェックする。できればこのようなサイトはなくしていくべき。
・ 特になし。	・ 逮捕から刑確定までの迅速化、凶悪事件予防策の充実
・ いずれも、殺人というものが、日常生活の中でいつでも起こりうるということを実感させられた。家にいる時、道路を歩く時、常に少なからず恐怖を感じる。	・ このような凶悪犯罪が増えた要因の一つとして、経済の不安定が考えられる。又、家族、学校での教育にも問題があると思う。技術進歩も大事だが、心を育てる教育が欠けているのではないか。
・ インターネットの掲示板等は読むだけにとどめて自分からは参加しない。	・ インターネットの匿名性に伴う危険を社会全体がもっと考えるべきである。
・ インターネット用、身近な情報機器の危険性。	・ 特になし。
・ この種の事件が増えているにも関わらず、何の手立てもない実情。	・ 特になし。
・ メール利用に慎重になった。	・ 社会的なセキュリティの強化が必要。
・ メール相手への関心抑制。	・ 迷惑メールの防止策の開発。
・ メール友＝軽薄な関係という感じ。	・ マスコミが提供する情報は、安全なシステムで欲しい。
・ メール友の相手の見えない危険性を指摘。	・ 個人の危機管理が大切。
・ メール友は携帯の恐さを教えてくれた。	・ 会社に対処することを願う。
・ メール友を作らない。	・ 迷惑メールにまつわる問題を何とかして欲しい。
・ 家族に注意を促したい。	・ マスコミが必要以上に報道するため、過剰反応が現れている。
・ 携帯電話のメールアドレスを変更した。	・ 情報化社会について、行政、司法、マスコミも勉強不足。また、中高年の自信欠如が若年層に悪い影響を与えていると思う。
・ 今後もサイバースペースと現実と混乱させる人が増えるだろう	・ 一般的には検挙率は優れていると思う。
・ 自分には関係ないと思っているが、そういう事件がある、という事に対してみんなは恐くないのかな？と思う。	・ マスコミがこういう事件に巻き込まれるのは本人が無知だから、というのをきちんとアナウンスすべきだと思う。
・ 若者の性のはげ口。衝動行動に対策を。	・ 監視制度。ボランティア制の導入か裁判の見直し。
・ 出会い系サイトなど不鮮明なサイトを規制する法律が出来た。	・ ネットの法律をたくさん作って、厳しく対応する。
・ 出会い系サイトは使用しない。	・ 迷惑メールを取り締まって欲しい。

・ 出会い系サイトやメル友など、インターネットを通じた交友関係での危険性。	・ 特になし。
・ 青少年の事件が多発していますので、自分の子供の様子が以前より気になるようになった。	・ 幼児、青年期の道徳教育の重視等による物事に対する考え方を重視した教育の実施。
・ 中高生の携帯所持はどうかと思う	・ 特になし。
・ 犯人と被害者との接点が、従来の犯罪と違うところにあるのが怖いと思った。子供の交友関係が気になった。	・ メル友、という関係には危険が伴うことを若者達にもっと知らせてほしい。
・ 不要メールには出ない。	・ 警察活動のモニタリング

(5)による影響と不満・期待・改善点

影響	不満・改善点
・ 近所だったので、出歩くのがちょっと恐くなった。	・ 特になし。
・ 携帯・パソコンへの安易な心の持ち方。	・ 自分自身を持って行動する。
・ 今後もサイバースペースと現実と混乱させる人が増えるだろう	・ 一般的には検挙率は優れていると思う。
・ 事件によって日常生活・行動が変わった事はない。	・ 出会い系サイトの調査・注意勧告。
・ 自分はこういうサイトは使わないが、軽い気持ちで始めるとこういう事もあるという意味で、社会には影響があったと思う。	・ 個人個人でもっと警戒するようにした方がいいと思う。もう治安大国ではない。
・ 主婦の倫理観の低下	・ 教育の仕方を改めて考えるべき。
・ 出会いは大切なものだが、犯罪のつながるのは嫌。	・ 特になし。
・ 出会い系サイトを利用する若者が増え、多くの事件が起こっている。	・ 利用者を制限するシステムを整えるべき
・ 出会い系サイトの取り締まり。	・ 特になし。
・ 出会い系サイトの問題。	・ なくすのは無理。
・ 出会い系サイトやメル友など、インターネットを通じた交友関係での危険性。	・ 特になし。
・ 情報の反乱によって、若者が次々と凶悪犯罪の加害者になっている。	・ インターネット上での犯罪をなくすための法律を強化すべきではないか。
・ 青少年の事件が多発していますので、自分の子供の様子が以前より気になるようになった。	・ 幼児、青年期の道徳教育の重視等による物事に対する考え方を重視した教育の実施。
・ 昔の情死に程遠い。	・ 殺人犯は全員死刑にすべきだ。
・ 他人に対する警戒。	・ 出会い系サイトはなくすべき。少なくともメールで入ってくるものは止めさせるべき。
・ 大人が子供の心をダメにしている。	・ 日本社会はお金で何でも解決しすぎている。特に政府、官僚が。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯人は人格障害とのことだが、世の中に大勢いるのだろうか？どのように相對していけばよいか悩む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の事件を通じ海外(特に欧州)での行政の取り組みを知り、日本の行政のその場しのぎ、指導力のなさを痛感した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出会い系サイトでのメル友の信用性。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出会い系サイトの悪質性をもっと報道すべき。</li> </ul>

(6)による影響と不満・期待・改善点

影響	不満・改善点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加害者以外の人権に対する意識の欠如</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少年の人権に対する過剰な配慮。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ あまり凶悪事件とら起きそうにないところで起きたので、恐いと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夜の警備が少ない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いずれも、殺人というものが、日常生活の中でいつでも起こりうるということを実感させられた。家にいる時、道路を歩く時、常に少なからず恐怖を感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ このような凶悪犯罪が増えた要因の一つとして、経済の不安定が考えられる。又、家族、学校での教育にも問題があると思う。(技術進歩も大事だが、心を育てる教育が欠けているのではないか)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ その後さらに、他人への関心を不要とせざるをえない現実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トラブルに巻き込まれないように注意するようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全に対するコストを誰が負担すべきか議論すべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ むやみに注意などしない方がよいかもしれないと思ってしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲酒後の帰宅の注意。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 官民間わず警備の強化。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸締まりの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少年処罰の強化</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通機関でのトラブルが気になるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共の場での迷惑行為を厳しく取り締まるようにしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車両を選ぶ時がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防げない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い、人相が悪い人と目を合わさないように街中を歩くようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電車内に非常ベルがあるとよい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い子が恐ろしいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何故若い子はキレルのだろう。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若者達の「きれる」という恐さで大人達が注意したりできない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校での先生達のあり方、授業だけ教えればよいというものでも無い！！</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団でいる若年層への対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭だけの問題でなく、社会的問題として青少年への対応を考える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少年がいる場所はさけるようになった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地下鉄等鉄道内で、日常的に起こる可能性の高い犯罪。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道警察官の配置が急務。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通っている線なので気になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通りすがりの少年達にも警戒してしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見て見ぬふりをする。関わり合いになりたくないという風潮。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電車で頭にくることがあっても、我慢するようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 偏見を持つてはいけませんが、少年達への全般的な嫌悪感がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電車に乗る時、ホームの端の方にいないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし。</li> </ul>

・ 電車内でマナーの悪い人間を注意する事が少なくなった。	・ 特になし。
・ 電車内で周辺の乗客に注意を払う。	・ 電車内及びホームでの警備・見回りなどの強化
・ 電車内で他人には干渉しないようになった。	・ 通勤電車の混雑を解消する。そのためには首都移転も良い方法だと思う。
・ 未成年者の犯罪が多発し、法が改正された。	・ 未成年に対する罪や罰を重く。
・ 問題のある行動をしている若者達への注意を躊躇する傾向。	・ 警備、監視体制の充実。
・ 路上、電車内などで、自分のとるべき行動に迷う。	・ 家庭でのしつけも重要だが、学校教育の道徳も重要

(7)による影響と不満・期待・改善点

影響	不満・改善点
・ 外国人の犯罪が増えているが、すべての外国人が悪い人ではないという事を子供に再度教えた。	・ 特になし。

(8)による影響と不満・期待・改善点

影響	不満・改善点
・ 特になし。	・ 最近起こるこのての事件の犯人は、家庭に原因があるものが多い。もっと人々は自分の家族、親戚に目を向けるべき。
・ 特になし。	・ 専門家を呼んで、犯人の精神状態を分析するのは、あまりやりすぎない方がいい。
・ まわりに対する警戒感が強くなった。	・ 行政は事件後、一部対策を考え実行しているようだが、事件は日常生活の中で起こったということを考えて、関係者だけわかっているという状態のままにしておかず、広く住民に啓蒙活動すべし。
・ 安心して路上を歩けない。	・ 特になし。
・ 異常者の放置に対策を。	・ 異常者への踏み込んだ保護。
・ 教育と、心の育成をするべきである。	・ あまりにも社会が自由主義にすぎで、上下がなくなっている。
・ 子供をできるだけ一人で外出させないようにしている。	・ マスコミは被疑者に対しては人権的な配慮をするようであるが、被害者にも同様にプライバシーはあるわけで、その点への配慮がもう少しあれば、と思う。
・ 自分の思い通りにならないことがあると、すぐ殺害をするという心の弱さに教育や社会のひずみを感じる。	・ 誰でもかわいい子(娘)を見ると気持ちも心地よくなるだろうけど、それを自分の思うようにしようとする人がいると思うと、同じ子を持つ親として、もっと罰を重くして欲しい。
・ 心して欲しい。若い女性達よ。	・ 殺人犯は全員死刑にすべきだ。



・ 昼間の犯行で、夜だけでなく、昼にも起こりうるということが、治安の悪化を感じた。	・ 世の中が狂っているので、半ば仕方がない。
・ 昼夜問わず、危険があることを実感	・ 事実を正確に伝えて欲しい
・ 特に影響は無いが、都会のど真ん中、明るい時間にこのようなことが起きた事にショック。	・ 犯罪者予備軍は多くいると思う。日本という国の持つ閉鎖状況が根本にあると思う。心のゆとりが必要。
・ 突発的な犯罪。社会不安。	・ 特になし。
・ 日々心をいためる悲惨、残虐な事件が多いが、自分の生活の中で気をつけようと思ひ、行動していることはあまりない。	・ 全般にいえることだが、被害者及び家族に対してのデリカシーのない過剰なマスコミの取材
・ 犯人逮捕まで時間がかかり、人々は不安になった。	・ 教師の採用試験に心理テストを盛り込む。
・ 不要メールには出ない。	・ 警察活動のモニタリング
・ 変人の存在。	・ 特になし。
・ 夜、道を歩くのが怖い。	・ 特になし。
・ 夜、歩くことが出来なくなった。	・ 夜間の巡回を強化。
・ 夜のウォーキングが出来なくなった。	・ 夜間の警察の巡回を強化すべきだ。
・ 些細な出来事で起こる殺人。	・ 犯人より被害者のプライバシーが侵される。

(9)による影響と不満・期待・改善点

影響	不満・改善点
・ 1年後の今になっても犯人さえ特定されない恐怖に、人々は不安な日々を過ごす。	・ 犯人の似顔絵が公開されているのに、何故見つからないのかが疑問
・ 2方向に逃げられないような施設への注意。	・ 建物利用基準の見直し。
・ 特になし。	・ 「ご利用は計画的に」という呼びかけが若い者に対して軽すぎる。
・ 特になし。	・ なぜ犯人が特定できないのか？
・ 特になし。	・ 教育（情報教育、論理的思考、科学的アプローチ）の定義強化。犯罪捜査の人員増と、質の向上、強化。司法の充実による裁判の早期化
・ 特になし。	・ 容疑者が未成年及び精神的疾患者に対する扱いは優遇され過ぎ。
・ このところの消費者ローンの増加ぶりを再認識。	・ 消費者ローンのCMがあまりに多くテレビで流れている。実際の返済の厳しさは誰も分からない。
・ とにかく、罪のない人たちが巻き込まれた事。	・ 今だに解決していません。情報提供なくして逮捕は無理と確信します。犯人像は常にマスコミ等を通じ、呼びかける事。
・ どんなどころにも安全という言葉はない。	・ 特になし。

・以前にカード会社で働いていたので、社内の非常ベルの位置を確認したり、ドアを閉めるなどの対策をとった。	・特になし。
・仮に自分がそういう目にあったら、下手に抵抗しないで自分の命を守ろうと思った。	・人命第一で危機管理マニュアルを整備すべきである。
・消費者金融の近くにはいかないようにする。	・消費者金融の入っているビルではエレベーターで変な利用客と一緒にするのが怖いので、階段を使用する。
・特に影響はない。	・マスコミは事件をあおりたてているような気がする。
・非常出口がなく、火に追い込まれるようになった。もっと配置を見直さなければならぬと思った。	・非常出口の確保をしっかりとすること。
・返済できないのなら借りるなと思った。	・特になし。
・金融が遺書の警備の甘さが指摘された	・事件ばかりでなく警備体制について報道すべき。

(10)による影響と不満・期待・改善点

影響	不満・改善点
・特になし。	・マスコミ放送が、過激な割に、再発防止策が今一つである。
・特になし。	・加害者以外の人権に対する意識の欠如。
・特になし。	・行政は小学校に不審者を入れないようにする。
・特になし。	・最近起こるこのての事件の犯人は、家庭に原因があるものが多い。もっと人々は自分の家族、親戚に目を向けるべき。
・特になし。	・小中学校には警備員を常駐させる事を義務付けるべき。
・特になし。	・逮捕から刑確定までの迅速化、凶悪事件予防策の充実。
・特になし。	・容疑者が未成年及び精神的疾患者に対しての扱いは優遇され過ぎ。
・いつ何時においてもどんな人が刃物をつけられるか分からない恐怖を覚えた。	・いつになったら犯罪のない町（日本）になるのだろうか。
・しばらく気分が悪くなった。	・特になし。
・スーパーなどで子供から少しでも目を放してはいけないと再認識した。	・特になし。
・せっかく開放的になった学校をまた閉鎖的にした。	・周りにいる怪しい人間をさとす。
・安心して学校に行けない子供がかわいそう。	・事実を正確に伝えて欲しい